

平成 24 年 5 月号

メンバー、ボランティア、学生
みんな仲間!

けやきと仲間 めーる



心の病と闘っているメンバーと大学生の協働の会 NPO 法人「けやきと仲間」

平成 24 年 5 月 1 日(第 85 号)



けやきんちの前の桜

お花見に出かけました

肌寒い日と暖かい日が繰り返す中、絶好の日和となった 4 月 10 日に、有志で散策を兼ねてお花見に出かけました。

総勢約 10 名で事務所を出発して、まず「けやきんち」前の見事な桜の群れを鑑賞。ついでにお弁当等を買出しして、千葉公園へ。

公園内の護国神社付近で、既にかかなりの場所取りのシートやロープが広げられていましたが、幸い静かで景色の良い所を確保して、お弁当・お菓子を広げ満開の桜の花びらが舞う中、のんびりした優雅なお昼のひと時を過ごしました。



マンガ絵入門


ようやく春の兆しが見え始めた3月27日から、「マンガ絵入門講座」が行われることになりました。


Iさんが教えて下さいます。

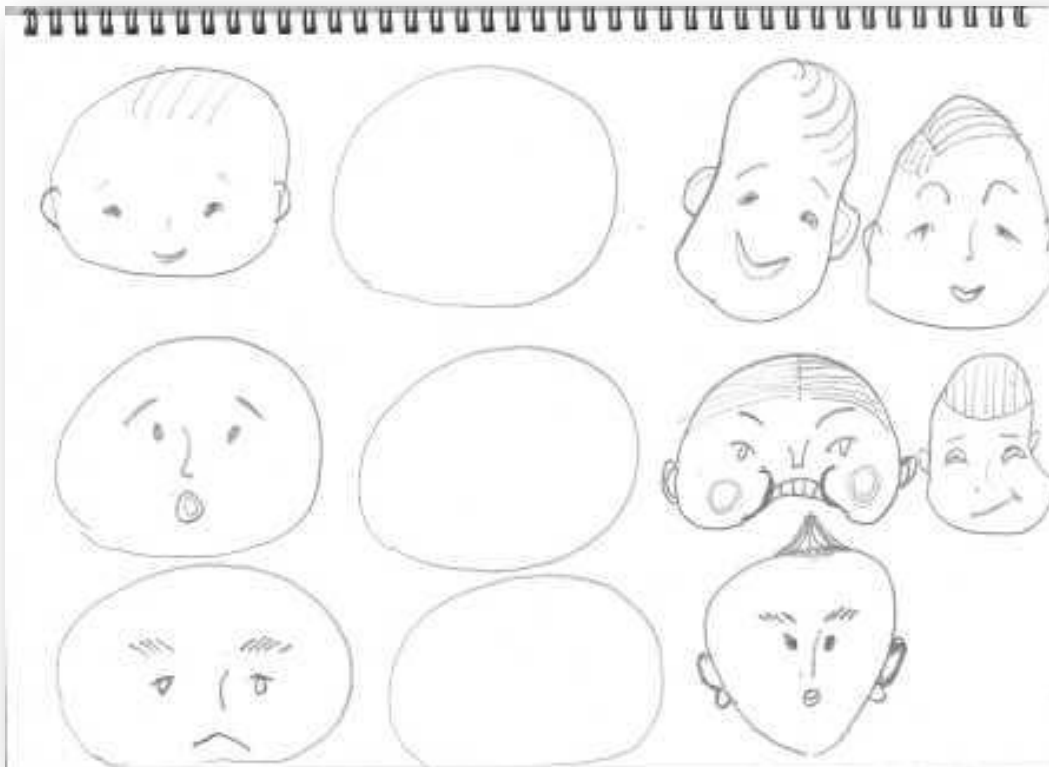
いつもはマンガは見たり読んだりだけ、それも他人の作品をです。私がマンガを描けるなんて思ってもいませんでした。

けれど考えてみれば、私たちは絵が好きで集まる仲間です。マンガもその手法の一つなのですから「あり」ですよ。これから何が始まるのか、楽しみにしたいと思います。

第一回目は、まず画帳に  楕円をたくさん描き、顔にする、 円の下半分に目、口を描くと赤ちゃん

顔に、また  の変形の中にもいろいろの顔を描く練習をやりました。次に一コママンガを描いてから、それ

に自分なりの  コメントを入れることもやりました。



まだ一回目が始まったばかりです。次回はどんなことを習うのでしょうか？

4月は新しい学びの季節です！！ 皆さんもご一緒にマンガ絵、始めませんか？ご自分の未知の才能目覚めるかもネ！！（ペンと画帳の用意してあります。）

M.M

お世話になりました

ご無沙汰しています。

3月末で、けやきと仲間を退職しました N です。

2009年10月より続けてきました、こころのピアサポートセンターが、3月末で委託期間が満期となり終了となりました。

この場を借りて、お世話になりました関係機関の方、また、けやきと仲間の皆さんへ感謝の言葉を述べさせていただきます。

2年半という期間は、過ぎてしまうと、あっという間だった気がします。

開所当初は、手探りの状態で、どのように進めていけば良いのかという方向性もなかなか定まらず、多くの方にご迷惑をおかけしました。

それでも、ひとつひとつ課題をクリアしていき、最終的には当初の目標件数である、月40件という数字を超えた時もありました。

これは、自分だけの力ではなく、理事長の平鹿さんを始め、理事会の方々や家族会、けやきと仲間のメンバーさんや、千家連を始めとする関係機関の方々の協力があったのだと思いますし、なによりも、共に活動をしたピアサポーターの皆さんの力によるところも大きいと思います。

残念ながら、継続しての補助事業としては成り立つまではいきませんでした。活動は続けていけるということですので、実績を作って、ゆくゆくは市の事業のひとつとして、活動できるようになることを願っています。

現在、僕のほうは、千葉市からは離れまして、近隣にあります地域の施設で働き始めています。ピアサポートとはまた違った指向の仕事をしてはいますが、この2年半の間に、けやきと仲間ですごした経験を活かせるようにがんばっていきたいと思います。

また、なにかの機会に、けやきと仲間に来ることもあるかと思っていますので、その時はよろしく願いいたします。

長い間、お世話になりました。

皆さんが、これからも変わらずに、元気で過ごされることを願っております。

どうも、ありがとうございました。

N.T



リレー小説

第4話

「とにかくアレク、今はどこかで待ってて。今、仕事
中だから後で迎えに行く。」

「うん、わかったよ。」

女は婦警に、生徒と面会するためにここに来たこと。
そして、この子をそれまで預かってほしいという
ことを伝えた。

面会室に入るとまず、生徒の髪の色が金に染まって
いるのが目に飛び込んできた。

「どうしたのその頭、何かあったの？」

「お前には関係ねえだろうが。」

「その通りだわ。あなたの髪の色が何色だろうと私に
は関係ない。だけど、万引きはれっきとした法律違反
よ。」

「うるせえなあ。」

(これだから反抗期の子供は困るわ。) 女は心の中で
ため息交じりにつぶやいた。

その時ふと視界の隅の方で何かが動いた。窓の外に
目をやると、「ケヤキ」と書かれた札のついた木から、
何かが飛んできた。その物体は、閉まっているはずの
窓をすり抜けて入ってきた。女は、呆気にとられてそ
の光景を見ていたが、すぐにアレクだと気付いた。

「何よ。びっくりさせないでよ。」

「へ？」生徒はアレクに気付いてないようだ。
アレクは言った。

「今は先生にしか見えないんだぜ。」

「私、そんなの信じないから。」

「何を一人でごちゃごちゃ言ってるんだよ。」

「外に行きなさい。」女は怒鳴った。

「そりゃあ俺だって早くここを出てえよ。」

生徒が反応するばかりだった。

次号へ続く (担当 JUN)

川柳

春も恋 唱えていたら 野良猫も

きらきらと 元気をもらおう さくらの木

生きていて 仕事決まらず 胸うずく

けやきでも さわやかな風 ニューフェイス

病名が 自己紹介の 定番だ

けやきんち 働き思う 人の縁